

■競技注意事項(T&F の部)

1. 競技規則について

本大会は最新の WA 競技規則、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規程、並びに本大会申し合せ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第一次招集は、マラソンゲート内招集所にて行う。番組編成にある本人の組・レーンを確認し、ナンバーに○をつけること。その際、競技中に着用するユニフォーム・胸アスリートビブス・腰ナンバーカード・競技使用予定シート・商標の確認を受けて招集完了とする。確認後は招集完了時刻まで招集所内に待機することとする。
- (2) 5000m、10000m、10000mW に関しては、第一次招集中に腰ナンバーカード(右腰)に加え、トランスポンダー付きの腰ナンバーカード(左腰)と番号をあわせた長距離専用別アスリートビブスを配付する。また、2 枚の腰ナンバーカードおよび長距離専用別アスリートビブスは競技終了後、必ず競技者係に返却すること。
- (3) リレー競技の第一次招集は、出走者 4 名全員が受けすこと。その際に、アスリートビブス・商標・同一ユニフォームであるかを確認する。
- (4) TR24. 12 に関わらず、リレオーダー用紙は、第一次招集開始の 10 分前までに TIC へ提出すること。リレオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。(「3. 欠場について」参照)
- (5) リレオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医師、医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければチームは失格となる。
- (6) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の招集を受けられない競技者は、当該種目の第一次 招集完了時刻までに重複出場届をマラソンゲート内に設ける TIC に提出すること。
- (7) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第一次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。
- (8) 重複出場届を提出した代理人は第二次招集に参加し、出発係にその旨を報告し本人が来るまで責任を持つこと。
- (9) 招集は、招集所にて下記の通り行う。

| 競 技 | 第一次招集 | | 第二次招集 |
|-------------|-------------|-------------|------------|
| | 招 集 開 始 時 刻 | 招 集 完 了 時 刻 | 招集完了時刻 |
| トラック競技 | 競技開始 30 分前 | 競技開始 20 分前 | 競技開始 10 分前 |
| 跳躍競技(棒高跳以外) | 競技開始 70 分前 | 競技開始 60 分前 | 競技開始 30 分前 |
| 投 捣 競 技 | 競技開始 60 分前 | 競技開始 50 分前 | 競技開始 30 分前 |
| 棒 高 跳 | 競技開始 100 分前 | 競技開始 90 分前 | 競技開始 60 分前 |

- (10) リレオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届・混成競技途中棄権届はマラソンゲート内に設ける TIC にて配布する。

3. 欠場・選手変更について

- (1) 5 月 2 日（金）正午までに事前欠場届を関西学連(icaak_rec@gmail.com)までメールにて提出すること。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に、当日欠場届を当該種目の第一次招集開始時刻までに TIC に提出することで欠場が認められる場合がある。
- (3) 当日欠場届には、監督および本人のサインを記入すること。ただし、大会当日に監督が不在の場合は、事前に監督代行届を提出している場合のみ、申請した代理人の署名を認める。
- (4) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第一次招集開始 10 分前（リレオーダー用紙提出締切時刻）までに当日欠場届を提出すること。

- (5) 混成競技において途中棄権する場合は、必ず混成競技係に申告の上、混成競技途中棄権届を早急にTICに提出すること。
- (6) 男子2部800m予選については、5月6日(火)正午の時点での出場予定人数が20名以下となった場合、2組(3着+2)に再番編を行う。

4. 競技者の服装について

- (1) 同一大学は、事前に学連に提出した同一のデザインのユニフォームを着用すること（提出したユニフォームと異なれば出場を認めない）。これはリレー競技に限らず、すべての種目について適用する。異なる形状のユニフォーム（トップス・ショーツ・ハーフタイツなど）を使用する場合も、事前に学連に提出し、色・デザインを統一させること。
- (2) 競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については、HP掲載の別紙『競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕』を必ず確認すること。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。
- (3) アスリートビブスは必ず本大会用のアスリートビブスを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせずに明瞭につけること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけでよい。
- (4) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。ただし、1500m以上からは両腰につけること。腰ナンバーカードは招集所にて配布する。
- (5) 混成競技の各日最終種目の腰ナンバーカードは、現地招集時に現地にて受け取ること。
- (6) 本大会はTR5.2ルールを適用し、規格外のシューズ使用は全て禁止とする。

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし、個人所有のやり・砲丸・円盤・ハンマーの使用を希望する場合は、競技開始の90分前から60分前に検査を受けて許可を受ければ、2個まで使用することができる。検査は用器具倉庫(100mゴール付近)で行う。ただし、検査時間が開門以前となる場合には、正面玄関にて検査を行う。
- (2) 棒高跳用ポールは、各自で持ち込んだものを使用すること。
- (3) リレーおよびフィールド競技のマークは、養生テープを使用すること。競技場保護のため、それ以外のテープは認めない。

6. 混成競技について

- (1) 別紙「混成競技申し合わせ事項」に従うこと。競技時間の遅れなどは、アナウンスで連絡する。

7. トラック競技について

- (1) 計時について、トラック競技の計時は写真判定(0.01秒)とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時(0.1秒)とする。
- (2) 5000m・10000m・10000mWに関しては、制限時間を設ける。各レーススタート後、次に記載している時間の経過時点で残り1周に達しなかった競技者は、その周のフィニッシュラインで競技を中止させる。

| | 5000m | 10000m | 10000mW |
|--------|-------|--------|---------|
| 男子 1 部 | 17分 | 34分 | 55分 |
| 男子 2 部 | 17分 | 36分 | 55分 |
| 女子 | 20分 | 40分 | 60分 |

- (3) 5000m以上の競技において気象状況により給水を行う場合がある。
- (4) 救急搬送防止および選手の安全確保のため、関西学連役員が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議のうえレースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。
- (5) 本競技会はSIS(スタートインフォメーションシステム)を使用しない為、スタート時の不適切行為及び不正スタートの判断は目視で行う

8. フィールド競技について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

| 競技 | 種別 | ピット | 試技開始 | 備考 |
|-----|----|-----|------|-----------------------|
| 走高跳 | 1部 | A | 1m90 | 2m10まで5cm刻み、以降3cm刻み |
| | 2部 | A | 1m85 | 2m05まで5cm刻み、以降3cm刻み |
| | 女子 | A | 1m55 | 1m70まで5cm刻み、以降3cm刻み |
| | 十種 | A/B | 1m50 | 一律3cm刻み |
| | 七種 | A/B | 1m25 | 一律3cm刻み |
| 棒高跳 | 1部 | A | 3m80 | 4m80まで20cm刻み、以降10cm刻み |
| | 2部 | A | 3m60 | 4m60まで20cm刻み、以降10cm刻み |
| | 女子 | A | 2m80 | 3m60まで20cm刻み、以降10cm刻み |
| | 十種 | A/B | 2m60 | 一律10cm刻み |

- (2) 練習の高さは以下の通りとする。

| 競技 | 種別 | 練習の高さ |
|-----|----|---------------------|
| 走高跳 | 1部 | 1m85/2m00 |
| | 2部 | 1m80/1m95 |
| | 女子 | 1m50/1m65 |
| | 十種 | 1m50/1m65/1m80 |
| | 七種 | 1m25/1m40/1m55 |
| 棒高跳 | 1部 | 3m80/4m40/5m00 |
| | 2部 | 3m60/4m20/4m80 |
| | 女子 | 2m80/3m40/3m80 |
| | 十種 | 2m60/3m40/4m00/4m80 |

- (3) 悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・関西学連の協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (4) 競技者が1人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。ただし、2つのピットに分かれている場合は、両ピットを通じて1人になった場合に限る。
- (5) 三段跳の踏切板の位置は、男子は13m、女子は10mとする。
- (6) 走幅跳（混成競技含む）及び三段跳の踏切判定には、粘土板を使用する。（ビデオカメラは使用しない）
- (7) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (8) 投擲種目の公式練習は2回までとする。ただし、ハンマー投は1回とする。
- (9) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことが出来る。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・関西学連等で協議し対処する。（競技規則 TR6.2）

9. 対校得点について

- (1) 各種目の対校得点及びボーナス得点は下記の通りとする。なお、ボーナス得点は1選手につき全ラウンドを通じて1回限り、該当する最大得点のものを与えるものとする。

[対校得点]

| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 対校得点 | 8点 | 7点 | 6点 | 5点 | 4点 | 3点 | 2点 | 1点 |

[ボーナス得点]

| | | | | | |
|----------|------|---------|------|----------|------|
| 日本新記録 | 30 点 | 日本タイ記録 | 25 点 | 日本学生新記録 | 20 点 |
| 日本学生タイ記録 | 15 点 | 関西学生新記録 | 10 点 | 関西学生タイ記録 | 7 点 |
| 大会新記録 | 5 点 | 大会タイ記録 | 2 点 | | |

- (2) 総合得点が同点の場合は、優勝種目数の多い大学を上位とする。優勝種目数が同じ場合は2位種目数の多い大学を上位とし、以降3~8位まで同様に比較する。以上の点で同じ場合は同順位とする。
- (3) 当日欠場届未提出およびコール漏れ（現地招集を含む）については、1件につき所属大学の総合得点より1点の減点を行う。また、リレー種目についても（オーダー用紙未提出含む）同様に1チームにつき所属大学の総合得点より1点の減点を行う。

10. 抗議・上訴の申し立てについて

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表されてから、30分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭でTICを通じて審判長に申し出なくてはならない。（競技規則TR8.2-3）
- (2) 審判長の裁定に不服な場合には、ジュリーに上訴できる。審判長裁定後30分以内に、TICにて上訴申立書を記入し、委託金1万円を添えて提出すること。その結果は最終的なものとなる。（競技規則TR8.7-2）

11. 惠天候や自然災害等発生の際の対応

- (1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、関西学連会長・ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を協議する。
- (2) 中止種目の得点は、どの大学の対校得点にも加算しない。
- (3) 対校戦として成立するには、対校種目数の4分の3以上（男子1部23種目のうち18種目以上、男子2部23種目のうち18種目以上、女子23種目のうち18種目以上）の決勝の実施が必要となる。対校戦として成立しない場合には、1部と2部の入れ替えを行わない。
- (4) 中止となった種目のエントリー料の返金は行わない。

12. その他

- (1) 記録の正式発表は大型ビジョンにて行う。
- (2) 事前欠場者の人数により、番組編成を変更する場合がある。
- (3) 競技終了後は必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また表彰終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。フィールド競技に関しては、現場の競技役員の誘導に従い、まとまって退場すること。
- (4) 記録証明書の発行を希望する場合は、正面玄関に設けるインフォメーションセンターへ発行手数料300円を添えて申し込むこと。
- (5) 競技場内へ立ちに入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (6) 競技者は競技区域内にビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。（競技規則TR6.3.2）ただし、フィールド種目に出場している競技者は映像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしても良い。（競技規則TR6.4.5）
- (7) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以降の競技を中止させ处罚を与える。
- (8) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。